

決算説明会資料

2009年6月2日



 **アネスト岩田株式会社**
ANEST IWATA

(コード番号6381)

目 次

- I 2008年度の連結業績概況
- II 2009年度連結業績の見通し
(2008年度の製品別動向を含む)
- III 株主還元政策
- IV 参考

■ 説明者

代表取締役社長 壺田 貴弘

I 2008年度の連結業績概況



2008年度連結業績 経営成績

単位：百万円

	08年3月期		09年3月期				修正業績予想値との比較 (2008年11月)		
	実績	構成比	実績	構成比	対前年 増減額	対前年増 減比率	修正業 績予想 値	予想値 対比	予想値 対比
売上高	28,096	100.0	22,435	100.0	-5,661	-20.1%	24,500	-8.4%	-2,065
営業利益	3,256	11.6%	2,017	9.0%	-1,239	-38.1%	2,450	-17.7%	-433
経常利益	3,602	12.8%	2,029	9.0%	-1,573	-43.7%	2,350	-13.7%	-321
当期 純利益	2,313	8.2%	1,376	6.1%	-937	-40.5%	1,350	1.9%	26

年度比較 : 07年に比較し大幅ダウン。6期連続増収増益から、一転、減収減益となった。

2008年度連結業績 年度/上期・下期収益構成比比較

(単位:百万円)

	2007年度実績		2008年度実績(2009年3月期)					
	通期	構成比(%)	上期	構成比(%)	下期	構成比(%)	通期	構成比(%)
売上高	28,096	100.0%	13,412	100.0%	9,023	100.0%	22,435	100.0%
売上原価	17,377	61.8%	7,934	59.2%	5,700	63.2%	13,635	60.8%
売上総利益	10,719	38.2%	5,478	40.8%	3,322	36.8%	8,801	39.2%
販管費	7,462	26.6%	3,878	28.9%	2,906	32.2%	6,784	30.2%
営業利益	3,256	11.6%	1,601	11.9%	416	4.6%	2,017	9.0%
経常利益	3,602	12.8%	1,733	13.5%	296	3.3%	2,029	9.0%
当期純利益	2,313	8.2%	1,038	8.8%	338	3.7%	1,376	6.1%

経営対策を早期に実施し、各四半期単位も全て黒字となった。

2008年度連結業績 - 売上高の年度/上期・下期比較

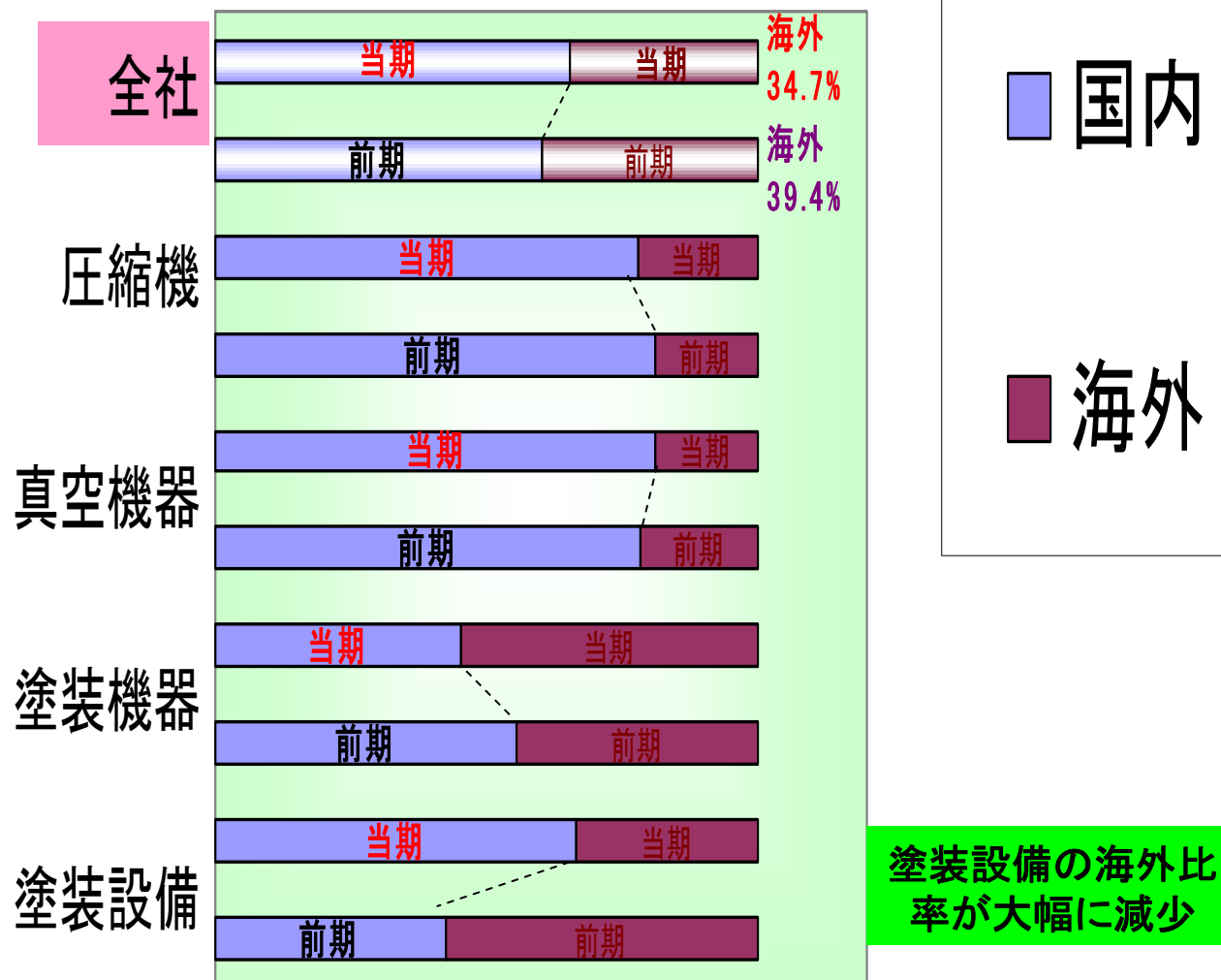
(単位:百万円)

	年度比較				2008年度上期・下期比較			
	2007年度	2008年度	差異	増減(%)	上期実績	下期実績	差異	増減(%)
圧縮機	11,559	10,449	-1,110	-9.6%	5,849	4,600	-1,249	-21.4%
真空機器	1,615	1,618	3	0.2%	834	784	-50	-6.0%
塗装機器	9,723	7,876	-1,847	-19.0%	5,082	2,794	-2,288	-45.0%
塗装設備	5,198	2,492	-2,706	-52.1%	1,646	846	-800	-48.6%
合計	28,096	22,435	-5,661	-20.1%	13,412	9,023	-4,389	-32.7%

- 真空機器が前年並みであった以外は、全ての事業で2007年度実績を下回った結果となった。
- 塗装機製品の落込みが大。特に塗装設備は2007年度比較で半減。

ターゲット市場(自動車・家電)の偏りが主要因。

2008年度連結業績 - 海外と国内の売り上げ比率



2008年度連結業績 損益計算書

(単位:百万円)

	2007年度実績		2008年度実績		増減額
売上高 ①②③	28,096		22,435		-5,661

- ① 下期以降の落ち込みが大きく、
第4四半期に前年同期比で国内△34.3%、海外△62.8%
- ② 海外比率
39.4% → 34.7%に減少
- ③ 子会社・・・ △438百万円の減
新規連結子会社で計778百万円の増加があるも、他の既存子会社分が△1,217百万円の減少

2008年度連結業績 損益計算書

(単位:百万円)

	2007年度実績		2008年度実績		増減額
	金額	比率	金額	比率	
売上高	28,096	100.0%	22,435	100.0%	-5,661
売上原価 ①	17,377	61.8%	13,635	60.8%	-3,742
売上総利益	10,719	38.2%	8,801	39.2%	-1,918
販管費 ②	7,462	26.6%	6,784	30.2%	-678
営業利益	3,256	11.6%	2,017	9.0%	-1,239

① ・塗装設備売上減少(商品MIXの変化)により原価率が改善。(1.0ポイント)

② ・販管費 678百万円の削減となるも、対売上構成比では販管費率上昇
(26.6%→30.2%)

2008年度連結業績 損益計算書

(単位:百万円)

	2007年度実績		2008年度実績		増減額
	金額	比率	金額	比率	
売上高	28,096	100.0%	22,435	100.0%	-5,661
営業利益	3,256	11.6%	2,017	9.0%	-1,239
営業外収益 ①	520	1.9%	360	1.6%	-160
営業外費用 ②	175	0.6%	347	1.5%	172
経常利益	3,602	12.8%	2,030	9.0%	-1,572

①各種の受取収益が売り上げ減で減少 (利息・ロイヤリティ・コミッション)

②為替差損 273百万

(期末レート US\$ 114円 → 91円、Eur 166.7円 → 128.0円)

貸付△80.9百万円、 外貨預金△28.7百万円、 債権債務△127.2百万円他

2008年度連結業績 損益計算書

(単位:百万円)

	2007年度実績		2008年度実績		増減額
	金額	比率	金額	比率	
売上高	28,096	100.0%	22,435	100.0%	-5,661
営業利益	3,256	11.6%	2,017	9.0%	-1,239
経常利益	3,602	12.8%	2,030	9.0%	-1,572
特別利益 ①	19	0.1%	51	0.2%	32
特別損失 ②	34	0.1%	86	0.4%	52
税金等調整前当期純利益	3,587	12.8%	1,994	8.9%	-1,593
法人税等	1,258	4.5%	625	2.8%	-633
少数株主利益・損失(△)	15	0.1%	-7	0.0%	-22
当期純利益	2,313	8.2%	1,376	6.1%	-937

① 投資有価証券の売却益 28百万円

② 棚卸し評価額特別損失 47百万円
 固定資産除却損 18百万円

2008年度連結業績

貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	08年3月 期末	09年3月 期末	増減額
流動資産	16,107	13,390	-2,717
現金及び預金	4,953	5,266	313
受取手形及び売掛金	6,436	4,003	-2,433
たな卸資産 ①	3,496	3,085	-411
その他	1,221	1,036	-185
固定資産	10,804	10,093	-711
有形固定資産	5,745	5,512	-233
無形固定資産	56	44	-12
投資その他資産	5,002	4,537	-465
資産合計	26,911	23,483	-3,428

①在庫

製品 △73百万円
 原材料 △140百万円
 仕掛品 △51百万円

2008年度連結業績

貸借対照表

(単位:百万円)

負債・純資産の部	08年3月 期末	09年3月 期末	増減額
流動負債	6,863	3,991	-2,872
支払手形及び買掛金 ①	3,781	1,964	-1,817
短期借入金	290	193	-97
未払法人税等	536	10	-525
その他	2,256	1,823	-433
固定負債	3,106	2,670	-436
退職給付引当金	2,842	2,456	-386
その他	264	215	-49
負債合計	9,969	6,661	-3,308
純資産合計	16,942	16,821	-121
負債純資産合計	26,911	23,482	-3,429
自己資本比率	60.8%	69.2%	8.4

① 売り上げの減少に伴う支払いの減少

自己資本比率 69.2%
8.4ポイント上昇

2008年度連結業績 **キャッシュ・フロー計算書(要約)**

(単位:百万円)

	2007年度実績	2008年度実績	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,686	1,670	△1,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	-1294	-155	△1,139
財務活動によるキャッシュ・フロー	-1610	-711	△899
現金及び現金同等物の増減額	-216	683	899
現金及び現金同等物の期首残高	4,500	4,375	△125
現金及び現金同等物の期末残高	4,375	5,211	836

- 営業活動では、売上額減少によるもの等の要因による。
- 投資活動では、有形固定資産の取得が減少616百万円。
- 財務活動では、長期借入金返済が減少708百万円。
- 最終的な「現金及び現金同等物」は、836百万円の増加。

Ⅱ 2009年度連結業績の見通し (2008年度の製品別動向を含む)



塗装設備 樹脂塗装
(自動車のバンパー)

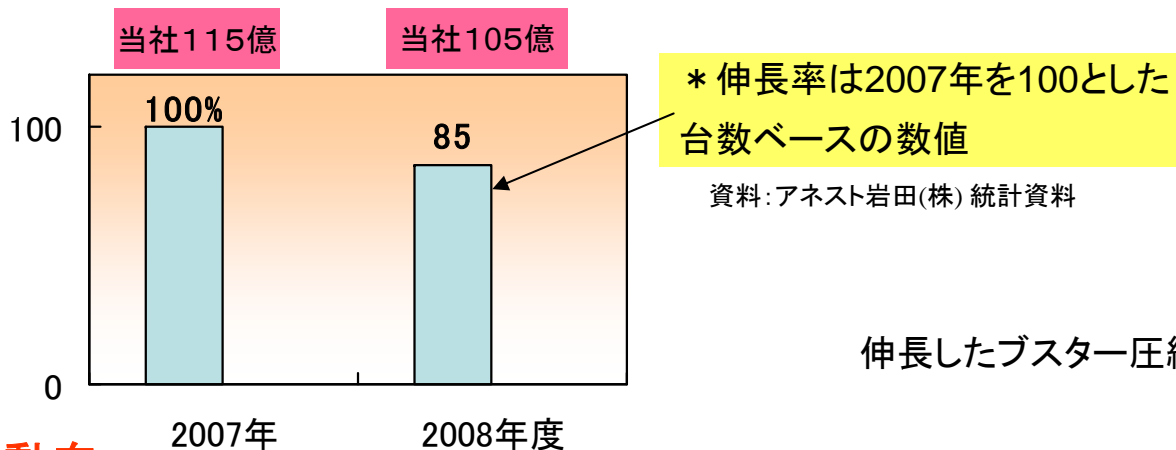
2009年度連結業績予想 製品別売上高

(単位:百万円)

		08年度通期		09年度通期			
		実績	構成比(%)	予想	構成比(%)	増減額	増減率(%)
売上高		22,435	100.0%	18,000	100.0%	-4,435	-19.8%
内 訳	圧縮機	10,449	46.6%	8,600	47.8%	-1,849	-17.7%
	真空機器	1,618	7.2%	1,700	9.4%	82	5.1%
	塗装機器	7,876	35.1%	6,000	33.3%	-1,876	-23.8%
	塗装設備	2,492	11.1%	1,700	9.4%	-792	-31.8%
営業利益		2,017	9.0%	180	1.0%	-1,837	-91.1%
経常利益		2,029	9.0%	360	2.0%	-1,669	-82.3%
当期純利益		1,376	6.1%	170	0.9%	-1,206	-87.6%

予想数値は現時点での見込み
2010年度以降に、需要の回復があるものと見込む

2008年度製品別動向-圧縮機



伸長したブースター圧縮機



業界動向

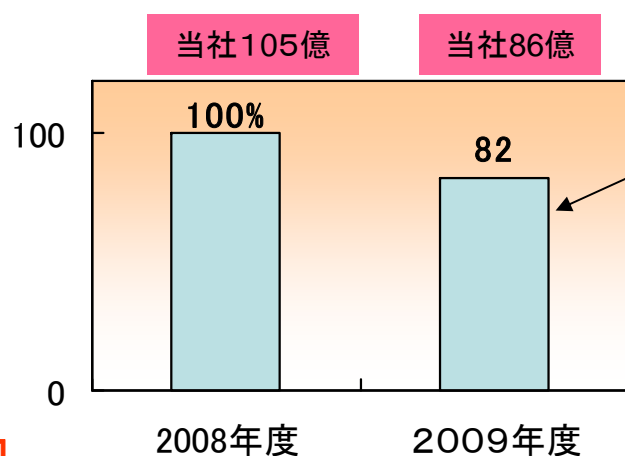
- 国内市場は、中形圧縮機及び小形圧縮とも、 $\Delta 15\%$ の減少。
- 海外市場も、低迷。順調であったインド・中国も急激に需要が低下。
- 当社が得意とするオイルフリー機の減少は軽微であった。

(製薬・食品業界向けが堅調)

当社状況

- 国内市場は、小形圧縮機 $\Delta 8\%$ 減・中形圧縮機 $\Delta 20\%$ 減
- 海外市場は、中国・インドは前年並みを確保、米国の医療向けが好調
- ブースター圧縮機は、省エネ効果が認められ伸長

2009 年度製品別動向-圧縮機



* 伸長率は2008年を100とした
台数ベースの数値

資料: アネスト岩田(株) 統計資料



業界動向

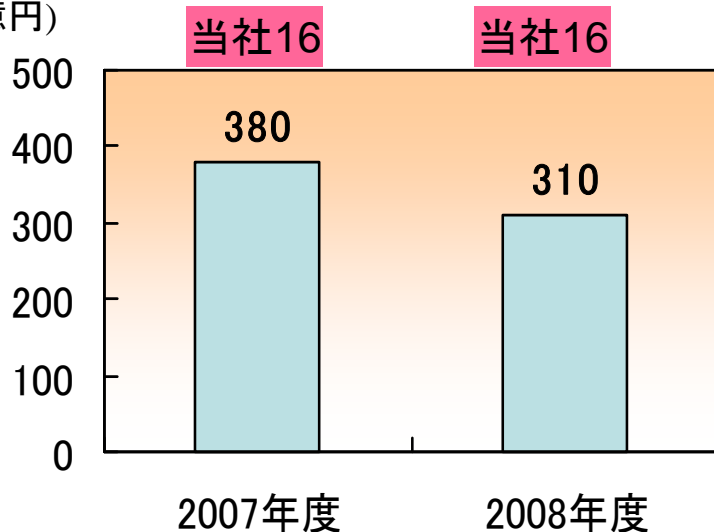
- 国内市場は、 $\Delta 18\%$ の減少と予測。
- 海外市場も、低迷。ただし、インド・中国は回復を見込む。
- 当社が得意とするオイルフリー化は拡大傾向にある
(製薬・食品業界向けが堅調)

当社状況

- 国内市場は、小形圧縮機 $\Delta 10\%$ 減・中形圧縮機 $\Delta 30\%$ 減予測、医療関係に進出
- 海外市場は、中国・インドに注力、米国の医療向けに加え車輻・印刷等に注力

2008年度製品別動向- 真空機器

(単位:億円)



注:左表は各年(4月~3月)のドライ真空ポンプ市場の集計+予想数値

日本真空工業会 統計資料より当社予想

業界動向

- 国内市場 液晶・半導体業界の投資戻らず。太陽電池や2次電池は順調
- 海外市場 世界的な投資の抑制があり、不調

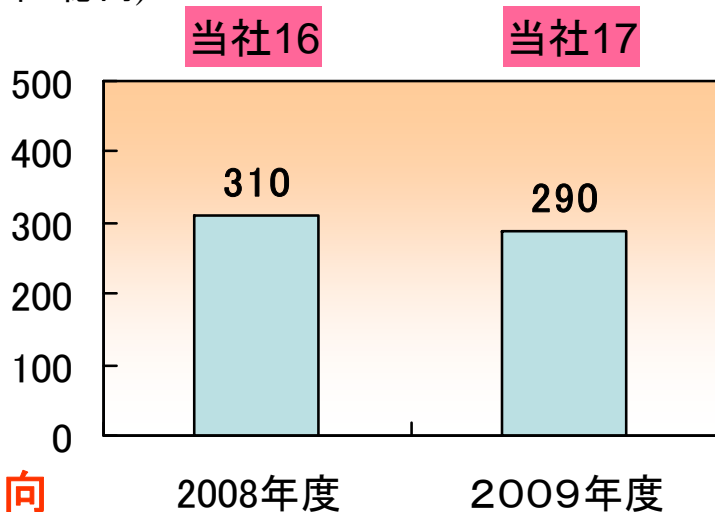
業界全体では、減少傾向を継続。特に第4四半期に大幅に減少

当社状況

- 国内市場 官需と理化学向けが伸長し、産業向けの減少をカバーし微増。
- 海外市場 第4四半期になり設備投資の抑制が顕著となり、減少した。

2009年度製品別動向- 真空機器

(単位:億円)



注:左表は各年(4月~3月)のドライ真空ポンプ市場の集計+予想数値

:日本真空工業会 統計資料より当社予想



:新製品の
小形ドライスクロール真空ポンプ

業界動向

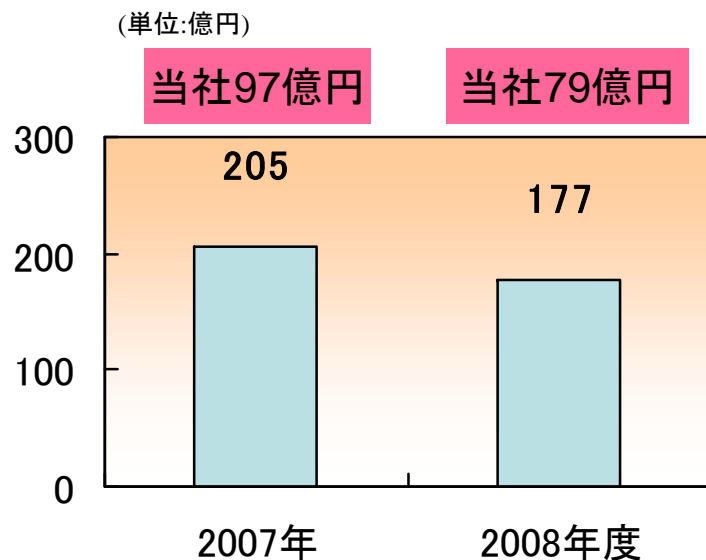
- 国内市場** 上期は液晶・半導体業界の投資戻らず。
 - 環境関連産業(太陽電池や2次電池)に期待
 - 海外市場** 世界的な投資の抑制があるが、BRICsは回復傾向
- 業界全体では、減少傾向を継続。

当社状況

- 国内市場** 官需と理化学向けは引続き伸長し、産業向けをカバーする。
- 海外市場** 中国・ロシア・東南アジア・米国の開拓を強化。

2009年度は、新製品の連続投入により、売り上げの増加を狙う

2008年製品度別動向-塗装機器



資料:日本塗装機械工業会 塗装機器出荷統計



新型低圧ポンプ

業界動向

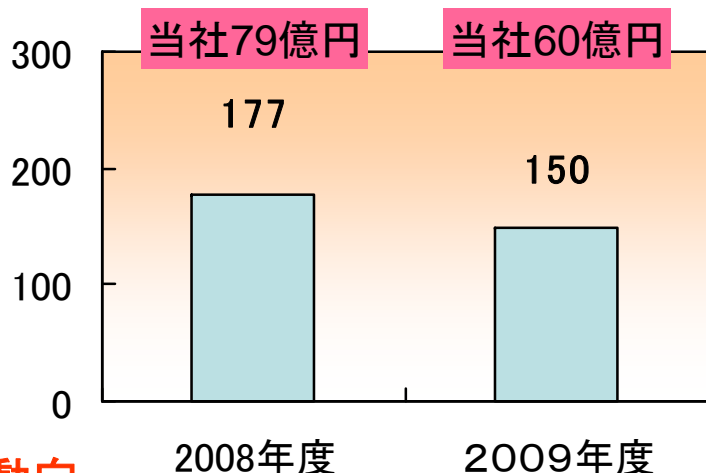
- 国内市場 自動車産業を中心に全体的な設備投資の抑制により低迷。
- 海外市場 国内と同様。

当社状況

- 国内市場 環境対応の静電塗装機は順調であったが、スプレーガンが減少。
- 海外市場 新型の低圧ポンプが寄与するも、スプレーガンが低迷。

2009年度製品別動向-塗装機器

(単位:億円) 資料:日本塗装機械工業会 塗装機器出荷統計



<新形スプレーガン>

pininfarina

業界初
イタリア ピニンファリーナ社
による工業デザイン。
世界最高
の機能とパフォーマンス。



業界動向

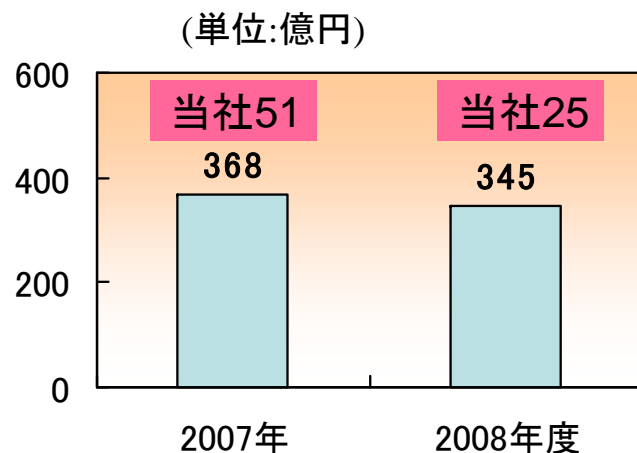
- 国内市場 引き続き、全体的な設備投資の抑制により低迷。
- 海外市場 国内と同様。

2009年度も引き続き業界全体で前年比15%の減少と厳しい予想

当社状況

- 国内市場 更に、環境対応の静電塗装機・塗料供給装置に注力。
霧化技術を応用し、塗装業界以外の液体塗布市場の攻略を加速。
- 海外市場 新形スプレーガンを含む、中級～高級機種までのレンジ拡大を実施。
業界動向と同様に前年比減少傾向を予測。

2008年度製品別動向-塗装設備



資料 : 日本塗装機械工業会 塗装設備出荷統計
当社対象市場のみ



薄型テレビ枠

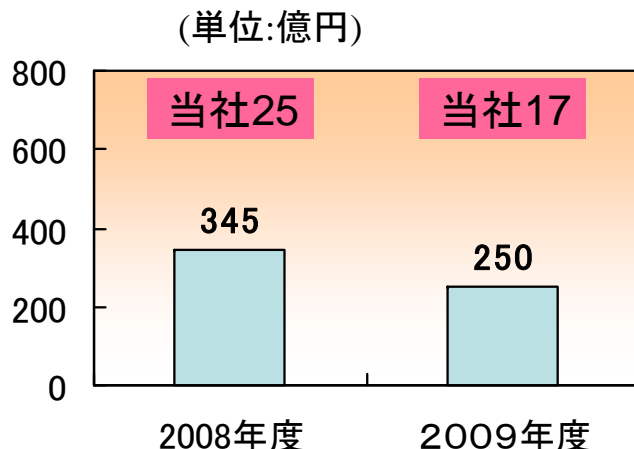
業界動向

- 国内市場** 上期は2007年度の注残により大幅増加なるも、下期に急減速。通期で前年比95%。
- 海外市場** 国内と同様。更に、為替の影響で競争力低下。

当社状況

- 国内市場** 当社の塗装設備主要ユーザーは自動車・家電産業のため、大幅に減少した。
- 海外市場** 国内同様に減少。為替による影響大。

2009年度製品別動向-塗装設備



資料 : 日本塗装機械工業会 塗装設備出荷統計
当社対象市場のみ

究極の定量供給装置
「シリンダポンプユニット」



業界動向

- 国内市場** 引き続き自動車産業の設備投資抑制の影響を受け、2008年下期を更に下回る結果が予測される。
- 海外市場** 国内と同様。

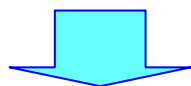
当社状況

- 国内市場** 対象(ターゲット)ユーザーの拡大(鉄道・農業機械・鋼製家具等)。自動車・家電産業向けは回復待ち。
- 海外市場** 比較的回復の早い、インド・中国市場への積極販売活動を実施。急激な設備投資増加は見込めず。高付加価値塗装(生産効率・良品率の向上)の提案。²⁴

2009年度経営計画

3つの戦略コンセプト

- (1) マーケットインの徹底
- (2) 専門性の重視
- (3) グローバル化の確立



上海コミュニケーションラボ&ショールーム



コミュニケーションラボ&ショールーム
横浜

進化した戦略コンセプト

(1) お客様密着型の営業スタイルへの変換促進

- 営業員・サービス員のITツールの充実
- コミュニケーション施設の充実

(2) 受注生産方式の確立

- 計画生産方式から受注生産方式への転換促進

(3) お客様志向の製品開発

- お客様の満足が得られるカスタマイズ製品開発と供給体制の整備
(汎用品の軽視では無く、汎用品の継続重視と共に、カスタマイズも注力する。)



圧縮機ソリューションルーム
横浜

2009年度経営計画

グローバル化に関して

- 2008年度の新規連結会社
 - － 3社増加・・・売り上げ影響度 7.8億円の貢献
 - IWATA-Medea (米)
 - ANEST IWATA DONG GUAN (中)
 - ANEST IWATA MOTHERSON COATING EQUIPMENT (印)
- 2009年度進出予定
 - － ドイツ・・・塗装機の競合メーカーの本拠地・・・現地法人化
 - － ロシア・ブラジル・・・今後の発展を期待し、駐在員事務所を開設

2009年度経営計画 経営対策

早期に経営対策委員会を立ち上げて対応

・直接労務費の削減……3億円 / 年換算

- ① 報酬の削減……役員・管理職等
- ② 人員の削減……非正規社員の削減(・定年後の再雇用者・派遣/契約社員)
- ③ 帰休の実施……横浜・秋田・福島の全事業所にて実施

・経費の削減……6億円 / 年換算

- ①製造管理費
- ②販売管理費



下期(10月以降)の業績に影響

2009年度経営計画 原材料コストと為替の影響度予測

原材料コストの影響度

- 予想値・・・仕入れベースで **5%減**を予定(2008年度実績 0.1%増)
- 対策・・・仕様見直・設計変更によるコスト低減

■ 3つのコストダウンP/IJを発足

戻し+ α ・・・昨年までの高騰分の取り戻し+値下げ
国内調達先の見直しや海外調達先の追加

為替変動の影響度

- 基準 Euro **120.00** US\$ **90.00**

- 影響度予測

Euro 1円変動につき **1,000万円**

US\$ 1円変動につき **1,000万円**

- リスク回避

円建て取引が約7割。今後も比率増加を検討

2009年度経営計画 設備投資・原価償却・研究開発費

(百万円)

	設備投資額	売上対比	減価償却	売上対比	研究開発費	売上対比	売上
2007年度 (実績)	1,000	3.7%	580	2.2%	1,100	4.1%	26,739
	積極的に投資				継続的に投資		
2008年度 (実績)	470	1.7%	540	1.9%	990	3.5%	28,096
	投資を抑制した結果、半減		07年の設備投資があり、減少せず		継続的に投資		
2009年度 (予定)	700	3.9%	240	1.3%	800	4.4%	18,000
	生産効率化・新製品対応の投資を予定		08年の設備投資が減少したため少ない		継続的に投資予定		

Ⅲ 株主還元政策



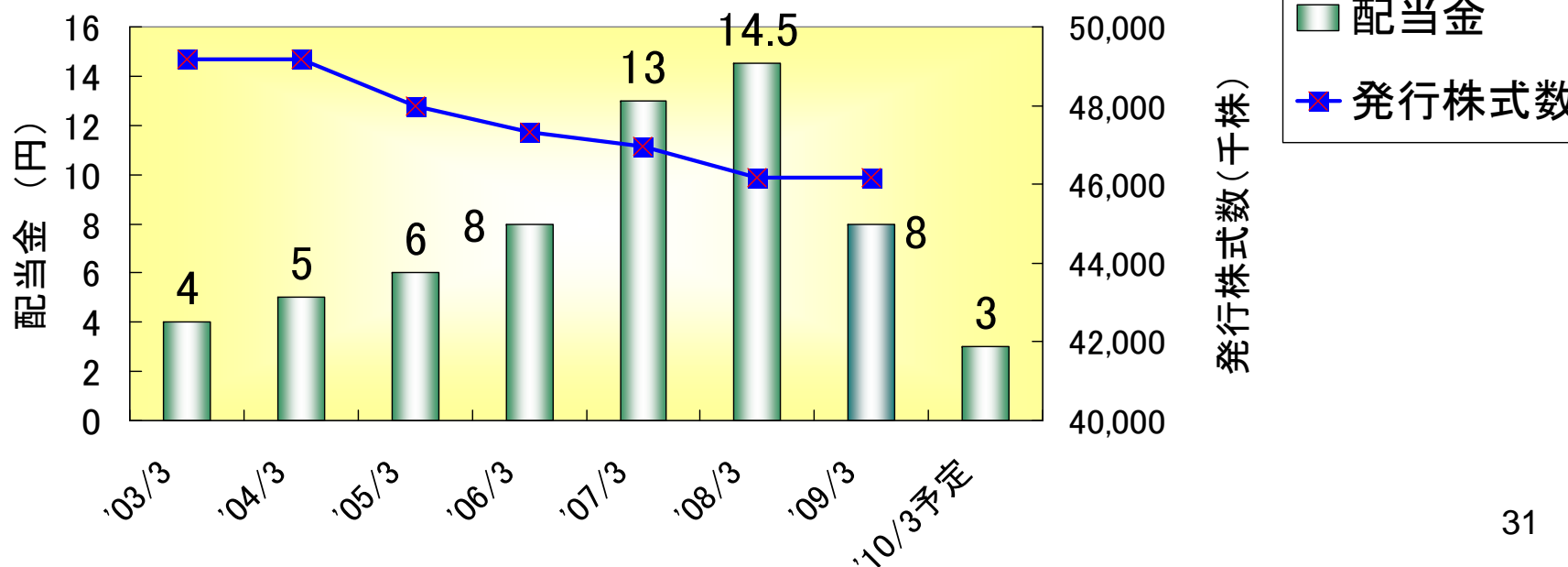
2009年度経営計画 株主還元政策

株主の皆様に対する安定的な利益還元に努めることを重要な使命とする。

配当 配当性向**30%**を基準。配最低でも年間**3円**。

当期末配当金	1株当たり	2円 を予定
第2四半期配当金	1株当たり	6円 を配当済み
年間配当金	1株当たり	8円 → 前年対比 6円50銭の減配 。
2009年度予測	1株当たり	年間 3円 。

配当金と発行株式数の推移

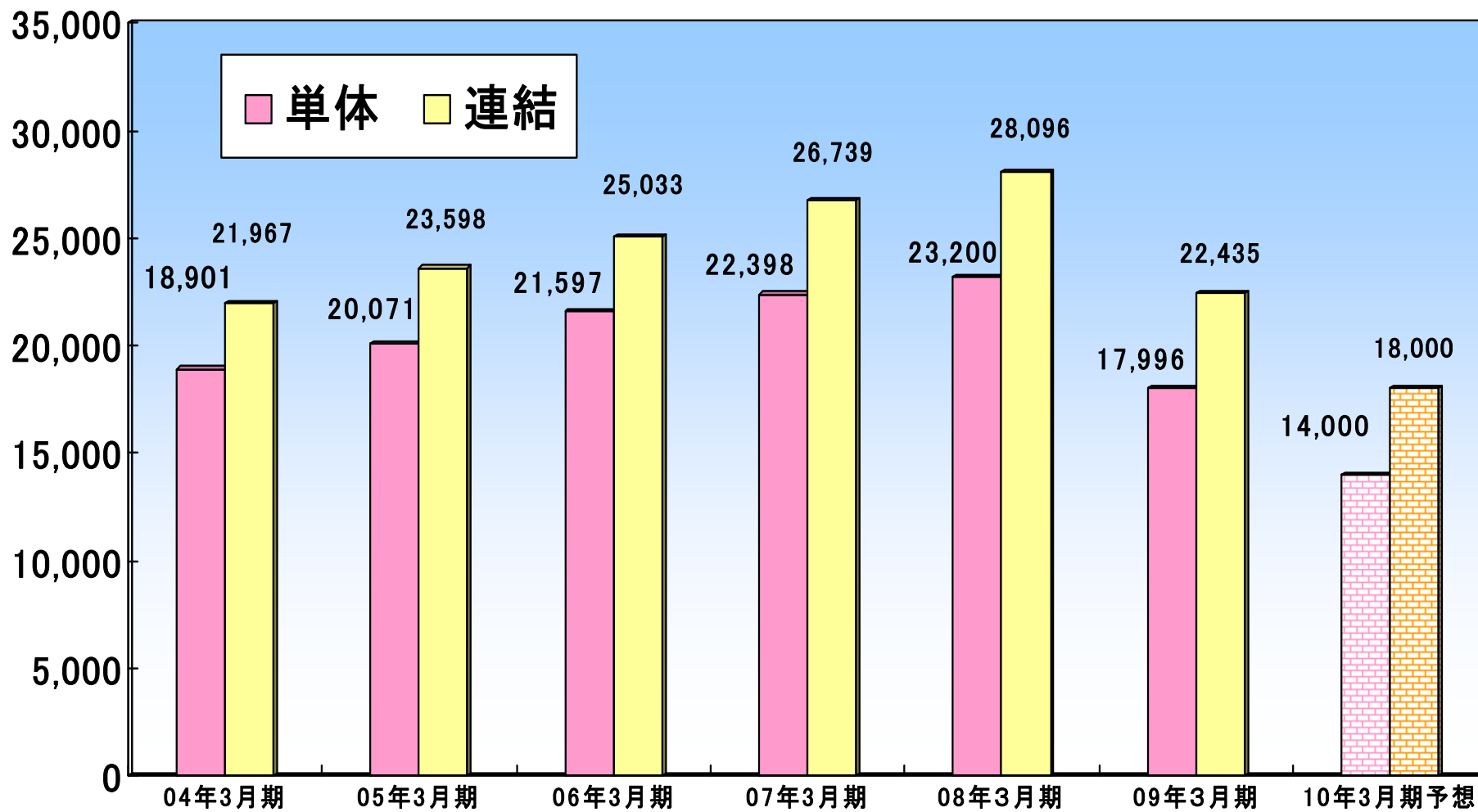


IV 参 考



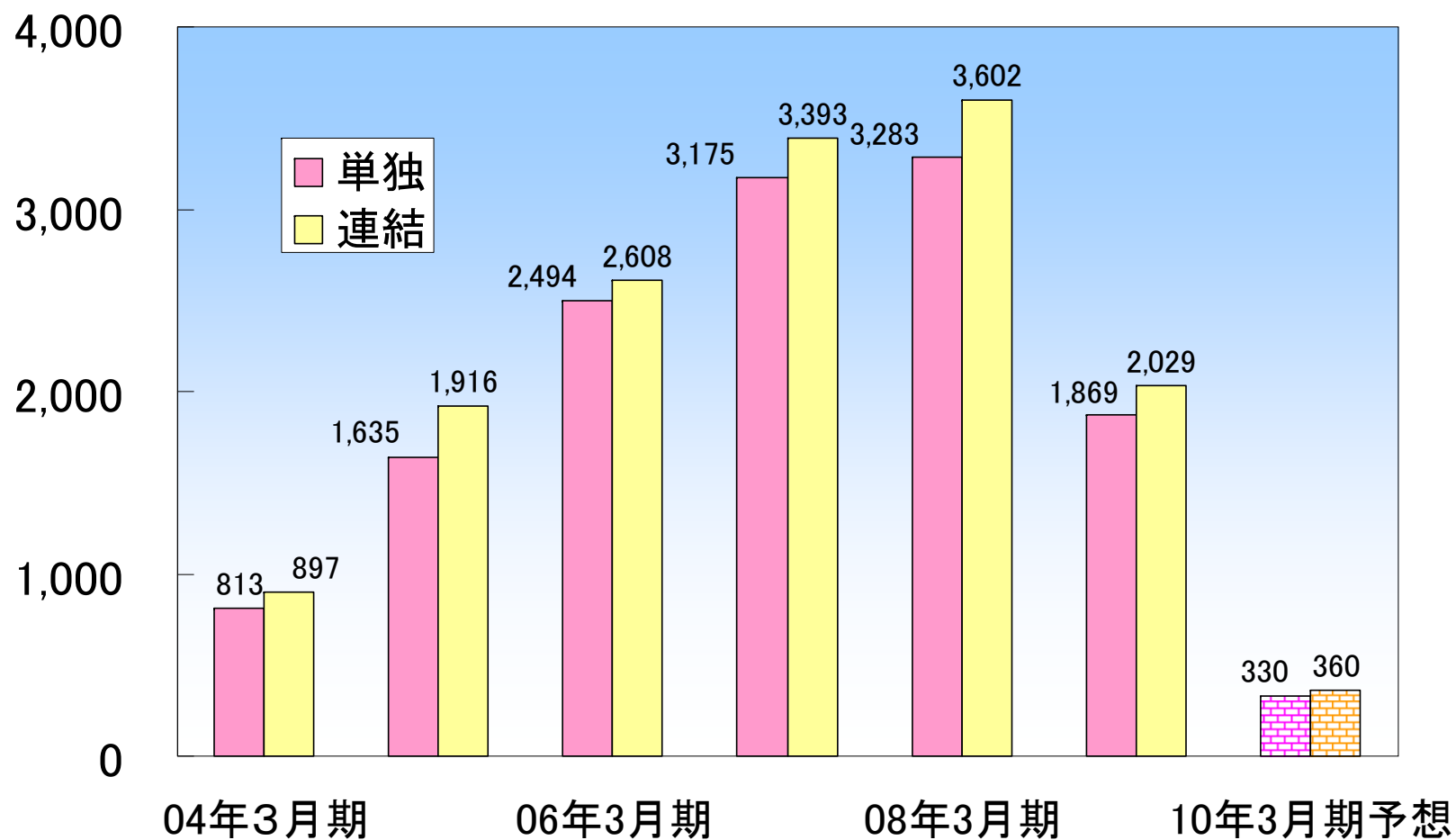
売上高推移

(単位:百万円)



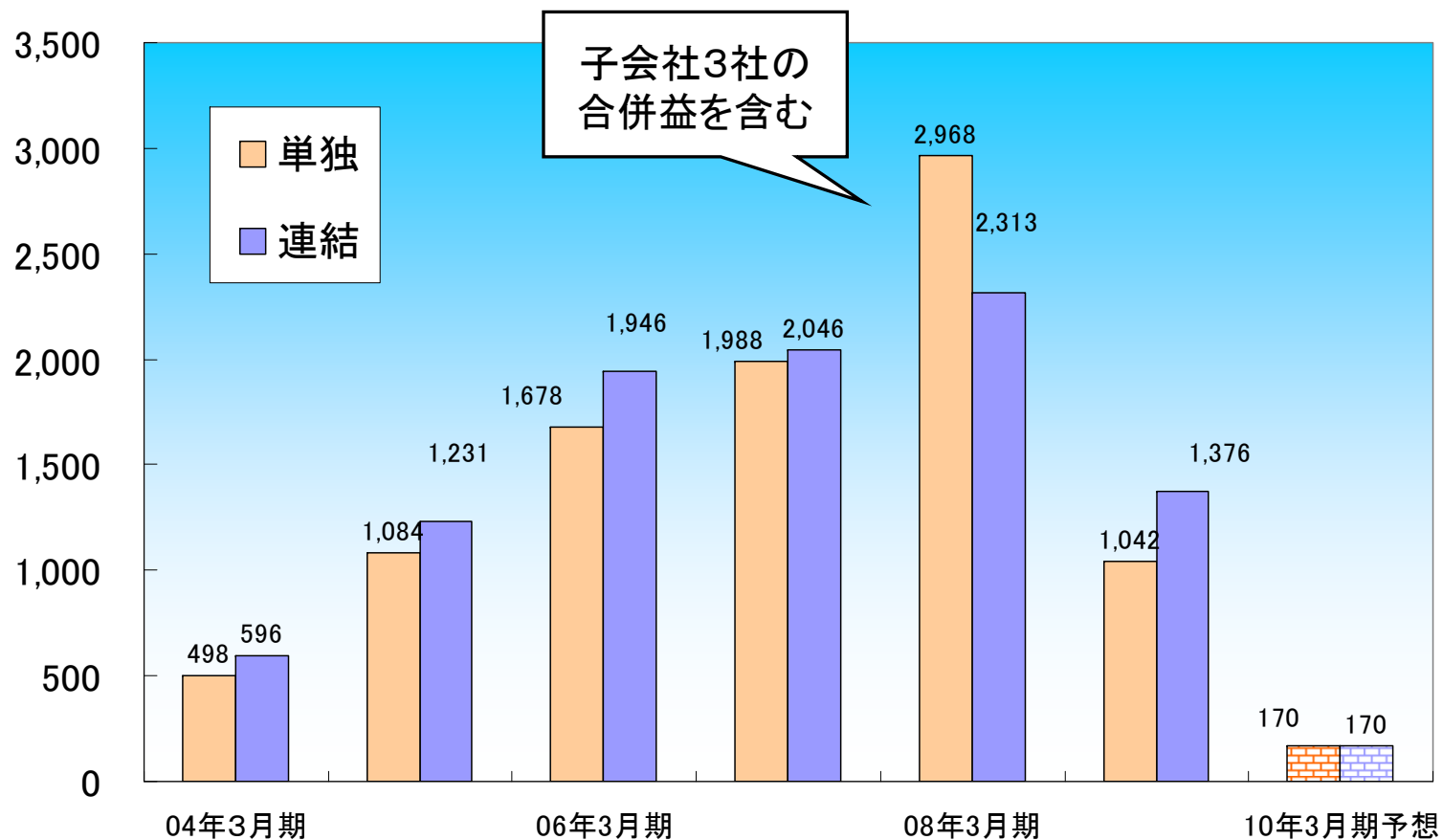
経常利益推移

(単位:百万円)



当期純利益推移

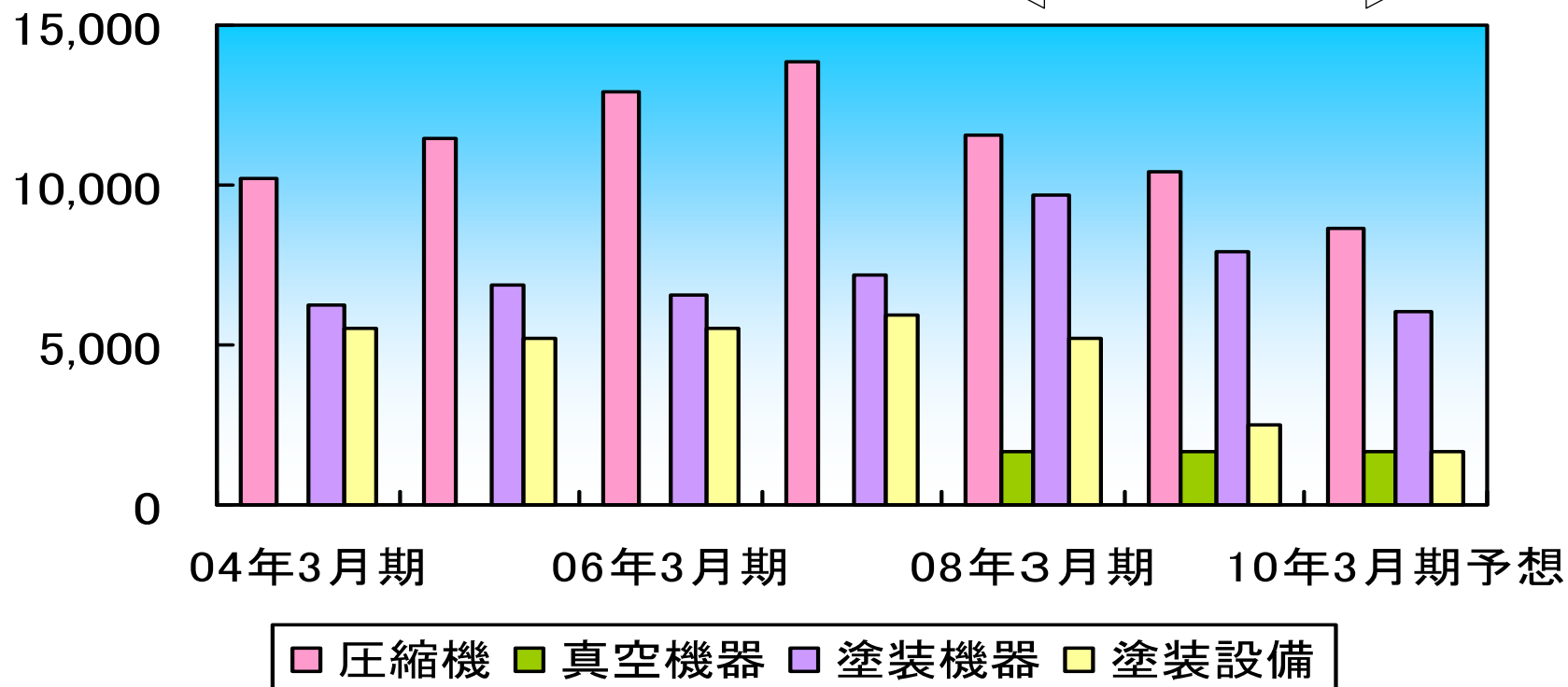
(単位:百万円)



事業別売上高推移

(単位:百万円)

注:基準変更



注:08年3月期は、圧縮機、真空機器、塗装機器、塗装設備の4分類に変更いたしました。
 また、新事業区分の「塗装機器」は前事業区分の「塗装設備」に含まれていた塗装ブースと塗
 装乾燥炉を追加したものです。
 07年3月期までは圧縮機売上＝圧縮機製品＋真空機器製品

経営指標推移表(連結)

指 標		2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期
自己資本利益率 (ROE)	%	13.1	14.3	8.4
総資産経常利益率	%	12.6	13.3	8.1
総資産利益率 (ROA)	%	7.6	8.5	5.5
売上高営業利益率	%	10.9	11.6	9.0
1株あたり当期利益	円	43.39	49.87	29.84
1株あたり純資産	円	341.27	354.79	352.38
自己資本比率	%	58.5	60.8	69.2
株価収益率(PER)	倍	15.3	7.6	8.78
配当性向	%	30.0	29.1	26.8
1株あたり配当額	円	13.00	14.50	8.00

当社グループ概要

欧州

- ANEST IWATA(U.K)Ltd - イギリス
- ANEST IWATA FRANCE SA-フランス
- ANEST IWATA EUROPE s.r.l-イタリア
- ANEST IWATA Italia s.r.l-イタリア
- AIR GUNSA s.r.l. -イタリア
- ANEST IWATA IBERICA S.L.-スペイン
- ANEST IWATA SCANDINAVIA AKTIERBOLAG-スウェーデン

アジア・オーストラリア

- ANEST IWATA MOTHERSON Ltd.-インド
- ANEST IWATA MOTHERSON COATING EQUIPMENT Ltd.-インド
- AIR FACTORY ENERGY Ltd.-インド
- ANEST IWATA SEGI Corp-韓国
- ANEST IWATA SOUTH EAST ASIA Co.,Ltd.-タイ
- 嘉興阿耐思特岩田産業機械有限公司-中国
- 阿耐思特岩田産業機械(上海)有限公司-中国
- 東莞阿耐思特岩田機械有限公司-中国
- 上海阿耐思特岩田塗装機械有限公司-中国
- 岩田友嘉精機股份有限公司-台湾
- ANEST IWATA Australia pty.Ltd-オーストラリア(新)

国内

- アネスト岩田サービス株式会社
- アネスト岩田コーティングサービス株式会社
(2007年7月から)
- アネスト岩田キャンベル株式会社
- 株式会社アドバン理研

北米

- ANEST IWATA U.S.A.,Inc.-アメリカ
- IWATA MEDIA,Inc.-アメリカ
- Powerex-Iwata Air Technology,Inc.-アメリカ

進出予定国

- ドイツ ● ロシア ● ブラジル

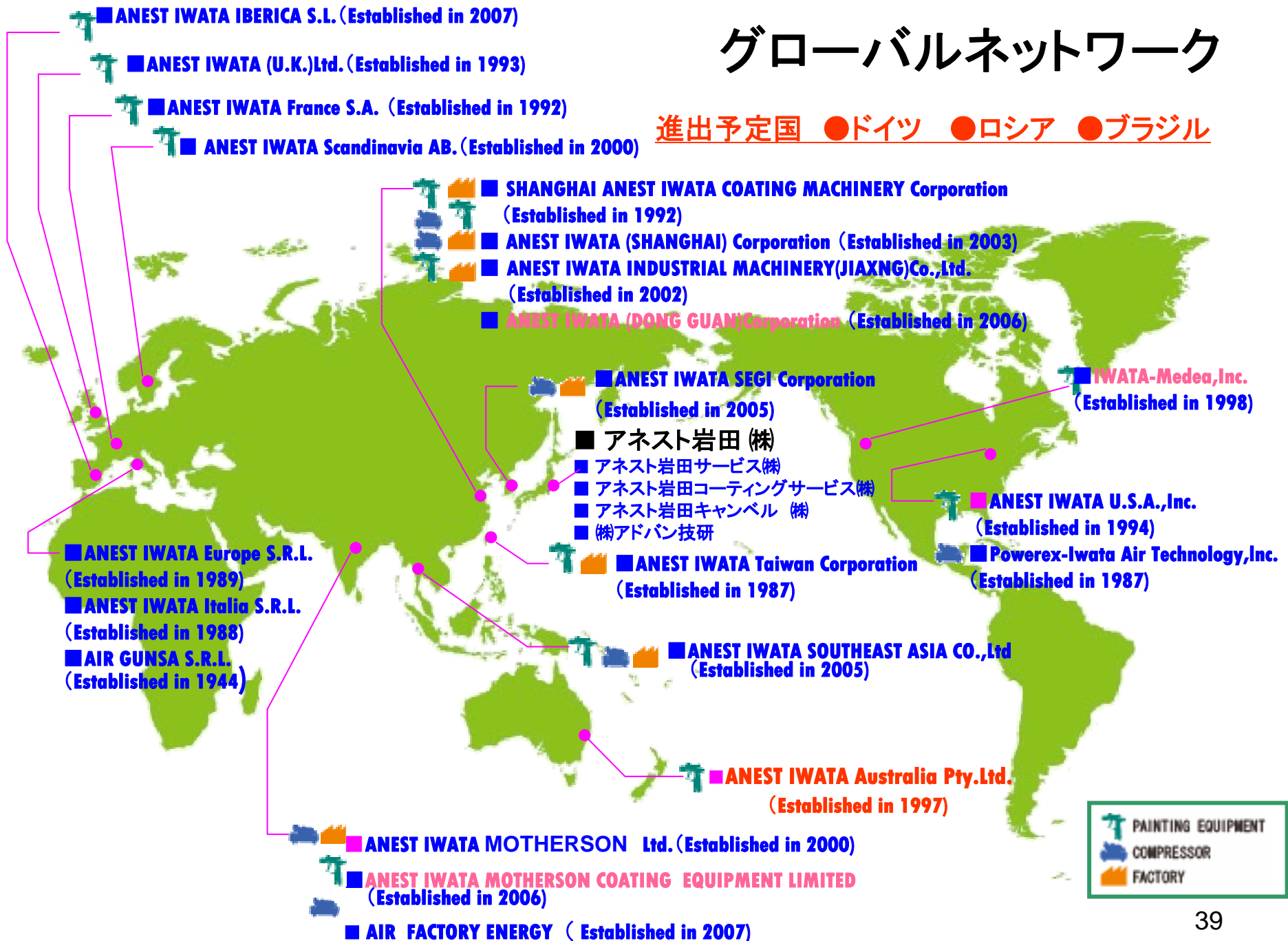
● は販売拠点

■ は生産・販売拠点

子会社20社(うち海外17社)、関連会社5社(うち海外4社)

グローバルネットワーク

進出予定国 ●ドイツ ●ロシア ●ブラジル





アネスト岩田株式会社

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略に関わる情報は、現時点で当社が入手可能な情報に基づき、判断したものであるため、現実的には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。